

明日を支える 2018

道総研建築研究本部

研究・活動報告③



近年、高度化、専門化する建築技術のデータに偽装が発生するなど、建築技術の信頼性が大きな社会問題となる事例が見受けられます。道総研建築研究本部では、このよ

うな社会問題の防止や企業における技術開発の一助となるよう第三者評価機関として、適確な判定、判断を実施してきました。

これにより、札幌、旭川のどちらでも構造計算

ろです。

今年4月には、新たに「建築性能試験センター」

を立ち上げました。これまで第三者機関としての支援業務は、旭川にあつた「総務部性能評価課」

が建築研究本部直轄部門として、また、札幌にあつた「構造計算適合性判定センター」が北方建築総合研究所の一部門として、それぞれ業務を行うなど分かりにくい面を有していたことから、両部門を統合することとなりました。

これにより、札幌、旭川のどちらでも構造計算

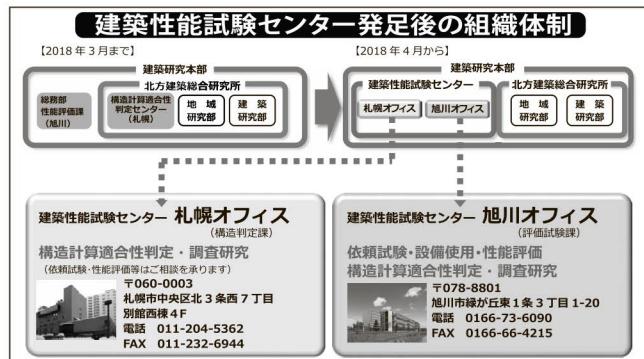
適合性判定や依頼試験などの相談をお受けすることができるようになりました。利用者へのサービス向上を図

【依頼試験・設備使用】
性能評価
「依頼試験」

に登録されています。
「設備使用」は、多様な能試験センターの主な業者による、設備を紹介していきます。

新たな研究開発が必要な場合は試験・評価などで、また、設備や不燃材料などについて、実験機器を企業・団体などの技術開発や製品開発などに有料でお使いいただけます。また、耐火構造や不燃材料などについて、国土交通大臣の指定を受けた関東以北唯一の指定性能評価機関として、構造基準法に基づく性能評価を実施しています。

【構造計算適合性判定】
道内にある唯一の構造計算適合性判定機関として、2007年から判定業務を実施しています。資料の直接持参や面談ビアリングなども可能です。
アーリングなども可能です。
【調査研究・指導・研修】
道総研の一部門として、当センターは、工業標準化法試験事務の登録制度



札幌、旭川双方で対応可能

建築性能試験センター長 倉増 英樹

て、基礎的な調査研究に加えて市町村や民間に対する指導・研修などを実施しています。新たな研究開発が必要な場合は試験・評価などを実施することができます。また、設備使用や依頼試験を通じて技術力を高め、新たな研究開発につながっているケースもあります。ハードからソフトまで幅広い課題解決にぜひ当センターをご利用いただきたいと思います。

7月27日には札幌駅前通地下歩行空間で開催される2018サインスパーカーで建築のプロが使う色々な測定機器に触れてみよう!」を出展します。ぜひご来場ください。

本Webサイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

(c) 北海道建設新聞社 All rights reserved.